

# 学生は日本語講座で何を学んだのか

## —振り返りシートから見えるもの—

クラスナイいづみ (サスカチュワン大学)

izumi.krasznai@usask.ca

### 【要約】

サスカチュワン大学の日本語講座は2014年9月に始まり、今年度で3年目を迎える。筆者は講座開始当時から、ここでどのような日本語講座を目指すべきなのかを考え続けてきた。2年目が終了した時点で、日本語に登録する学生はどんな学生なのか、日本語講座に求めているもの、日本語講座に対する評価などを調査した(クラスナイ 2016)。

本稿では、講座2年目から導入した「振り返りシート」を使用し、そこから更に学生が日本語講座に何を求め、そこで実際何を学んだのかを調査した。

### 1. はじめに

サスカチュワン大学の日本語講座は、言語学・宗教学科が開講する選択科目として、2014年9月に開講された。1学期、2学期、夏期集中講座の間にそれぞれ2-3クラスが開講され、1学期間に80人ー100人ほどの学生が登録し、この2年(2016年6月現在)で517名が登録した。

筆者は2014年9月から2016年7月までの講座に登録した学生について、専攻、日本語学習理由、学習目標・目的を、学生が提出したプロフィールや学生名簿を使用して調査した。そして日本語講座は、学生のニーズおよび、教師が目指す目標に合ったものとなっているのかを本学のオンラインコース評価をもとに検証した(クラスナイ 2016)。

この調査で見えた課題として、大学が一斉に行うコース評価だけでは、学生が授業中にどのようなことを学び、具体的に何を困難に感じているのかが見えづらいということであった。例えば評価では良い数値が出ているにも関わらず、学生のコメントは必ずしもポジティブなものばかりではない。そのため、もっと学生の声が聞ける独自のアンケートが必要であると感じた。そこで本稿では、2016年1月から学生が提出している「振り返りシート」を新たにデータとして使用し、オンラインコース評価だけでは見えてこない、学習者の姿をまとめた。

### 2. 振り返りシートについて

2016年1月(2学期)の授業から、学生に「振り返りシート」というものを提出してもらっている。これは学生に自分達の学習を振り返ってもらうためのもので、学期の終わりに提出する。学期の始めにはプロフィールを提出し、そこに簡単な自己紹介や日本語を学習する理由、学習目標・目的などを記入してもらっている。振り返りシートはプロフィールに対する答えのようなもので、目標にどれだけ近づけたのか、教室の外ではどのような学習を行ってきたのかを記入する。更に日本語講座に対する感想などを書いてもらっている。

振り返りシートを導入したのは、以下の理由からである。初級日本語1には、毎学期50人ほどの履

修者がいるが、大人数のために学力差が激しい。また 1 年生が多く、大学での学習習慣をまだ確立できていない学生もいる。そのため、学生が自分の学習を自分で振り返り、どのくらい目標に近づくことができたのかを意識させることが必要であると感じた。導入のきっかけになったのは初級日本語 1 のクラスであったが、全クラスの学生に提出してもらっている。教師も、学習者の教室外での学習の様子を知ることができる。

質問事項については、学期毎に多少の修正をしてはいるが、概ね以下のようなものである。

1. What was your main reason to study Japanese?
2. What was your goal?
3. Did you accomplish your goal?  
Yes→What did you do to accomplish it?  
No→Why not?
4. How much time do you spend studying Japanese outside of classroom per day or per week?
5. Describe what you do specifically. Do you have your own way of studying?
6. Did you use any specific materials or applications?
7. What is your strongest skill? (e.g. reading, writing etc.)  
How did you become strong in that area?
8. What is your weakest skill?  
Why do you think that area is your weakest?  
What can you do to make it stronger?
9. Did you try to establish good relationship with your classmates?  
Yes→ How did group or pair work affect your studying during class?  
No→Why not?
10. What did you learn in this course?  
-about the Japanese language (What can you do with Japanese?)  
-about Japanese culture  
-Others (Ex. Broaden your outlooks, reflecting your mother tongue etc.)
11. What are activities that you liked most in class? Why did you like them?
12. What are activities that you didn't like? Why didn't you like them?
13. Was your image of Japanese language or Japan changed after taking this course?
14. Please write your thoughts and impressions regarding this Japanese class.

今回データとした使用したのは、2016 年 1 月(2 学期)から 6 月(春期・夏期集中講座)までの振り返りシートで、対象クラスは初級日本語 1(二クラス分)、初級日本語 2(二クラス分)、中級日本語 2(一クラス分)である。提出率は、以下のとおりである。

2016 年 1 月(2 学期)

初級日本語 1(34 人／50 人)、初級日本語 2 (32 人／40 人)、中級日本語 2 (15 人／27 人)

2016 年 5 - 6 月(春期・夏期集中講座)

初級日本語 1(29 人／42 人)、初級日本語 2 (11 人／18 人)

全体の提出率：121 人／177 人(68%)

### 3. 学習者は日本語講座で何を学んだのか

振り返りシートの質問 10 と 14 に対する答えを、以下 7 項目にカテゴリー化し、まとめた。

回答数 286 (複数回答可)

#### 1)日本語全般に関すること

- ・日本語の基礎を学んだ。 91
  - ・基本的な読み、書き、話すができるようになった。 43
  - ・日本に行って役立つ表現が学べた。 3
- 137／286 (47.9%)

#### 2)日本の文化、習慣に関すること

- ・文化を学んだ。 33
  - ・礼儀作法や言葉遣いを学んだ。 23
  - ・文化と言葉は影響し合っていることを理解した。 3
  - ・日本人の考え方や態度などが理解できた。 2
  - ・自分の国(中国、韓国)との比較ができた。 2
  - ・アニメ、漫画、テレビ、ゲームの日本語が理解できるようになった。 9
- 71／286 (24.8%)

#### 3)コミュニケーションに関すること

- ・先生、日本人のゲスト、クラスメートの言っていることがわかるようになった。 6
  - ・ゲストの日本人高校生と話げた。 2
  - ・プレゼンテーションが上達した。 4
  - ・自分の言いたいことが言えるようになった。 4
  - ・質問に答えられるようになった。 1
  - ・クラスメートと日本語を使ってコミュニケーションが取れた。 8
  - ・クラスメートや先生との結びつきが深まった。 2
  - ・実際教室で皆とコミュニケーションをとるのは、ネットで勉強するのとは違うと思った。 1
- 28／286 (10%)

#### 4)学習に関すること

- ・教室環境で体系的に学べた。 2
  - ・3 週間でここまで日本語が学べることに驚いた(夏期集中講座)。 2
  - ・自分は外国語学習に向いていることを知った。 1
  - ・たくさん練習すると上達することがわかった。 1
  - ・ゲームを使った勉強方法があることを知った。 1
  - ・日本語学習はチャレンジだが、得るものが大きい。 1
  - ・最初は単位のためだったが、今は日本語が好きで勉強している。 1
- 9／286 (3.1%)

#### 5)他の言語との比較

- ・母語や他の外国語との比較ができた。8
- ・日本語と似ているので、先住民族の言葉の発音も上達した。1
- ・単に翻訳すれば日本語になるということではないことがわかった。2      11/286 (3.8%)

#### 6)視野の広がり

- ・英語を学ぶ人達の気持ちがわかった。4
- ・物事を違う角度から見ることを学んだ。3
- ・日本に留学したいと思うようになり、実際応募した。1      8/286 (2.8%)

#### 7)困難を感じていること

- ・ペースが速すぎる、テストや課題が多すぎる      19人
- ・専門が忙しく、日本語にあまり時間を割けない。      19人
- ・プレゼンテーションをやりたくない。3人
- ・文字を覚えるアクティビティーがあればいい。1人
- ・1クラスの人数が少なければいい。1人
- ・1クラスの授業時間が短い(50分)。1人      44/286 (15%)

### 4. 考察・結論

3でカテゴリー別にまとめデータを、学生の日本語学習理由(登録時)、学習目標・目的(履修後、どうありたいか)と比較した(表1)。また、日本語の学習理由、学習目標・目的に掲げられていても、振り返りシートの回答として出てこなかった項目については、筆者から見た学生の現状として記述した(表2)。日本語学習理由と学習目標・目的は、学期の最初に学生が提出したプロフィールからまとめたものである(クラスナイ 2016)。但し、プロフィールは2014年9月から2016年6月までのものを使用したのに対し、振り返りシートは2016年1月から導入したものであるため、集まったデータの数や時期が異なる。あくまでも傾向を知るための参考資料として見ていただきたい。

表1 日本語学習理由、学習目標・目的、学生が実際に学んだことの比較

日本語学習理由 (日本語クラス登録時)	学習目標・目的 (履修後、どうありたいか)	学生が実際に学んだこと (振り返りシートから)
・日本語に対する興味 15.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な読み、書き、話ができるようになること 15.1%</li> <li>・日本語の文法や構造が理解できること 6.1%</li> <li>・流暢になること 4.2%</li> <li>・漢字や複雑な文が理解できること 3.2%</li> </ul> <p>(全体 28.6%)</p>	・日本語全般に関すること 47.9%

<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化(ポップカルチャー含む)に対する興味、文化が好きだから 28%</li> <li>・アニメや漫画を日本語で理解したいから 3.4%</li> </ul> <p>(全体 31.4%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画、アニメ、映画、歌詞を日本語で理解できるようになること 7.7%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の文化、習慣に関すること 24.8%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人と話したいから、会話ができるようになりたいから 6%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話ができるようになること、日本人と話ができるようになること 23.7%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションに関すること 10%</li> </ul>

表2 日本語学習理由、学習目標・目的、現状の比較

日本語学習理由 (日本語クラス登録時)	学習目標・目的 (履修後、どうありたいか)	現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本に行きたいから 22.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本に行くこと 10.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JETプログラムや英会話学校への応募、日本への旅行、日本留学への応募</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位のため 6.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位を取ることで、いい成績を取ることで 7.7%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信につながる。</li> <li>・上のレベルのクラスへ進む</li> <li>・日本へ行くための準備</li> </ul>

#### 4. 1 学生の日本語学習理由、目標・目的と実際に学んだこと

学生の学習目標・目的で一番多かったものは、基本的な日本語の仕組みを理解する、基本的な四技能を身につけるといった、日本語に関することであった。振り返りシートの「この講座で何を学んだか」という問いに対して、日本語の基礎、基本的な読み書き話ができるようになったなど、日本語全般に関する回答が一番多く、約半数を占めている。

学生の多くが日本のアニメやゲームで育った世代である。日本語の学習理由としては、日本の文化に対する興味から、日本語を登録したと答えた学生が一番多い。実際、日本語講座で日本の文化や習慣を学んだという学生が全体の約4分の1いる。日本語を学ぶことで、好きなアニメや歌の歌詞を理解できるようになったと答えた学生もいた。

「日本人と話したい」ということを目標・目的にあげた学生もいたが、残念なことにサスカトゥーンには日本人が少なく、そのような機会はあまりない。それでも市内で日本語を教えている高校や、日本人会のイベントなどの情報をもらいながら、本学の学生が関われる機会を普段から探している。2016年には高校の交換プログラムで来ていた高校生に、大学の授業に来てもらう機会があり、学生にとっていい刺激になったようである。また日本人と話す機会はなくとも、普段の授業でクラスメートの言うことがわかるようになった、自分の言いたいことが言えるようになったということが挙げられている。それにより、日本語でコミュニケーションを行う楽しさを知ったり、自信をつけたりする学生もいる。

学習理由や学習目標・目的には、他にも「日本に行くこと」、「単位のため・いい成績を取ることで」

と書いた学生もいた。実際、日本語講座履修後、JET プログラムや民間の英会話学校に応募して、現在日本で働いている学生が 4 人いる。また既に応募し、現在、結果待ちの学生も 4 人いる。また少数ではあるが、日本への留学に応募した学生もいた。日本語講座を日本に行くための準備として利用している学生もあり、それがいい成績を取るという動機付けにもなっている。

#### 4. 2 コミュニケーションの場を作る教室

サスカトゥーンは日本人が少なく、実際に日本人と話す機会があまりない。そのかわり、同じ目標を持って学ぶ学生同士の絆を深め、学生同士が積極的に日本語を使い、コミュニケーションを行う場として教室を利用して欲しいという思いを抱いてきた。全体の 10 パーセントではあったが、自分の言いたいことが言え、クラスメートと日本語を使ってコミュニケーションが取れたと書いた学生がいる。実際、授業中に中国人留学生同士が、意識的に日本語を使っている姿が見られる。またカナダ人と留学生が、教室の外で日本語を使っている姿も見られる。

現代はインターネットやオンライン授業など、学生がわざわざ教室に足を運ばなくても学習できる環境が整いつつある。そんな時代であっても、実際に教師やクラスメートとのコミュニケーションを大切に、それを求めて日本語の授業にやって来る学生も多くいる。

#### 4. 3 学生の視野や可能性を広げる日本語講座

振り返りシートから出てきた回答の中には、学生の学習理由、目標・目的に関連していない項目も見られる。それは新しい発見であったり、最初の目的が別なものに変わって行くなど、実際に日本語を学んでみなければわからないサプライズのようなものである。それは学生自身も、登録時には予想していなかったことではないだろうか。

例えば日本語が初めて学ぶ外国語であった学生が、日本語学習をすることで、自分が外国語学習に向いていることを知ったり、最初は単位のためだったけれど、途中から日本語が好きになり、そのために勉強するようになったなどということが挙げられている。また日本語学習をきっかけに、初めて母語(英語)について考える機会を得て、英語を学ぶ人の気持ちがわかったと答えた学生もいた。大学卒業後、日本で英語を教えたいと考えている学生が多くいる。彼らにとって今からこうした視点を持つことは、非常に大事なことである。

日本語学習を通して学生は新たな気づきを得たり、視野が広がったりしている。日本語講座は言語や文化を学ぶ以外にも、学生に様々な影響を与えている。

#### 5. おわりに

日本語講座の目指すべき方向を考えるためには、普段から学生の様子を観察し、学生の声に耳を傾けることが重要である。振り返りシートは、学生の正直な意見が書かれている資料として、非常に有効であった。今後も継続していきたい。

日本語講座には日本の文化が好きで、日本のことをもっと知りたいという思いで、教室に足を運ぶ学生が依然として多くいる。そんな学生達にとって、サスカトゥーンには日本人が少ないとか、日本語や日本文化に直接触れる機会がないなどという現状は、あまり大きな問題ではないようである。学生は学生なりに自分で目標を設定し、それに向かって学習を続けている。教師は学生達の「好きである」という気持ちを大切に、学生達が「なぜ日本語を学び、何に喜びを見出しているのか」を十分

に知り、サポートできる授業を作っていく必要があるだろう。今後も魅力ある講座を目指して、学生達とともにサスカチュワン大学の日本語講座を発展させていきたい。

#### **参考文献**

・クラスナイいづみ (2016) 「サスカチュワン大学日本語講座 2 年間の歩み」『2016 CAJLE (Canadian Association for Japanese Language Education) Annual Conference Proceeding』 pp. 154-161